

★「いにしえ倶楽部連続講座」を開催しました。

●「しまねの古墳時代研究最前線」



7月31日埋文センターにて開催

県民の皆様、文化財を身近に感じていただくために、出土品などを活用した連続講座を年3回開催しています。28年度の第1回目の講座では島根県内の古墳とヤマト王権との関係に迫る講義を行いました。

★いにしえ倶楽部を開催しました！

●「きみも卑弥呼の鏡をつくろう！」



8月20日益田市立市民学習センターで開催

小学生やその保護者など60名の皆さんにご参加いただき、益田市で「鏡作り体験」を行いました。ワークショップでは金属製の三角縁神獣鏡を参加者の皆さんが懸命に磨いて、ピカピカに仕上げていました。

わかりやすい！島根県の埋蔵文化財情報が満載！

ドキ土器 まいぶん No.60



静間城跡

尾根上の平坦部分が主郭です
建物跡や多数の遺物が発見されました。



土塁

主郭の西端に残されていた土塁の一部です。
土塁の内側には攻めてくる敵に投げつけるための、拳から人の頭ぐらいの大きさの石が置かれていました。

姿を現した中世の山城

① 静間城跡 (大田市静間町)

一般国道9号（大田静間道路）建設に伴い5月から発掘調査を行っています。静間川の左岸、標高約27mの低い丘陵上に築かれた山城で丘陵の尾根上には、城の主郭（山城の中心となる区画）である幅約20m、長さ約120mの細長い平坦面があります。

この主郭部分の調査で、掘立柱建物跡や礎石建物跡が見つかりました。また、土師質土器や陶磁器類、古銭、釘などの鉄製品を含む多くの遺物が見つっています。陶磁器類には備前焼の播鉢や中国製の青花、青磁碗などがあり、これらの遺物の時期から15世紀後半頃に造られた山城であることがわかりました。

また、主郭の西側と南側に土塁（堤防状の壁）の一部が残っていましたが、堀切や塹壕などの防御施設はないことから、城というよりも「山上の館跡」と考えたほうがいいかもしれません。静間城跡の発掘調査は11月末まで続きます。今後の発見にご期待ください。

MAP



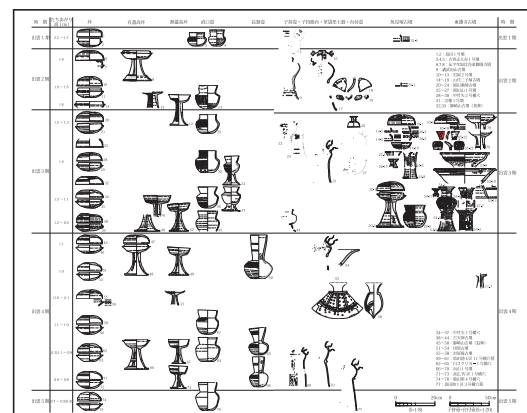
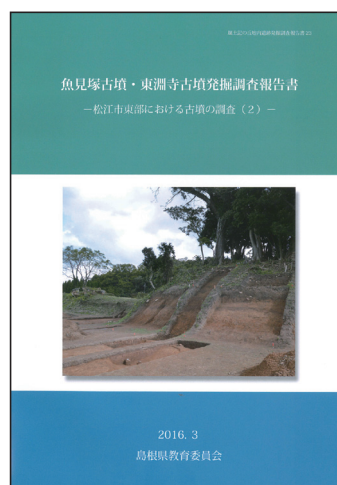
刊行案内

島根県古代文化センター調査研究報告23
松江市東部における古墳の調査（2）
魚見塚古墳・東淵寺古墳発掘調査報告書
●最新刊です！

平成23年度から26年度にかけて当センターが松江市内で行った東淵寺古墳と魚見塚古墳の調査と研究の成果をまとめた報告書です。2つの古墳の歴史的位置づけや出土土器から見た築造時期などに関する考察も収録しています。

県内の図書館や文化財関係施設等で閲覧できるほか、島根県文化財愛護協会でも販売しています。

（購入の連絡先：島根県文化財愛護協会 0852-22-6612）



出雲東部の須恵器編年表

まいぶん 出土遺物カード11

古屋敷遺跡(大田市仁摩町)木棺墓

一般国道9号（静間仁摩道路）建設予定地の発掘調査で、縄文時代終末期（約2,500年前）の2基の木棺墓が発見されました。保存状態の良いものは、長さ約110cm、幅約50cm、深さ約30cmになります。木棺は墓穴の中に板材を組み立てて作られ、板を杭によって固定されていました。この墓には人骨はありませんでしたが、もう一つの墓からは人骨の一部が見つかりました。

縄文時代終末期の墓で、木棺が使用された例は非常に珍しく、中国地方では山口県御堂遺跡につぐ2例目の発見となりました。

この木棺墓は、今年度から当センターの展示室で公開しています。



縄文時代の木棺墓展示状況

島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器 まいぶん

No.60 発行：平成28年9月

編集・発行
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町33
TEL.0852-36-8608 FAX.0852-36-8025
E-mail: maibun@pref.shimane.lg.jp
http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

